

活動名	地域の伝統行事「もみ山」の継続と保存
<p>活動の概要</p> <p>成果</p>	<p>「瀬戸祭り」とは、大島郡の玄関口、大島大橋南詰め、飯の山の山裾に位置し、この島の一宮といわれる「大多満根神社」の例大祭である。</p> <p>「もみ山」とは、この祭りにおいて、「加勢」として、しゃぎり・花神子とともに、祭りを盛り上げるための山車の1つである。</p> <p>しかし、時代が移り、産業形態が変わり、祭りの意味を理解する者も少なくなり、また、少子高齢化、過疎化が急速にすすみ、加勢の運営自体が難しくなってきた。</p> <p>そこで、われわれ保存会は、伝統行事の継続・保存の立場から、次に掲げる、瀬戸祭り子供もみ山「運営のためのコンセプト4本柱」を旗印に、多くの皆様のご協力を得ながら、地道な活動を続けて来ている。</p> <p>★もみ山の継続・運営 <続ける></p> <p>★伝統地域行事の保存 <記録を残す></p> <p>★青少年の健全育成 <地域で子育て・見守り></p> <p>★地域のなごやかな人間関係づくり・地域の活性化 <つながり・元気></p> <p>今年度の主な活動の状況としては、地道な取り組みではあるが下記のとおりである。</p> <p>○その1 「もみ山の運行継承の話し合いの継続開催」 及び「新規のもみ山の組み立て作業の実施」 コロナ禍にあってやむなく運行が中断されているが、“ゼロにしない・つなぐ”を合言葉に、話し合い・準備を続けている。</p> <p>また、新規のもみ山をみんなで組み立ててみ、調整作業をおこなった。</p> <p>○その2 「もみ山に関する資料の編集と贈呈」 かねてより要望の多い、もみ山に関する資料を1冊のファイルにまとめる作業を行い、地元の小・中学校と図書館に贈り喜ばれた。</p> <p>○その3は、「ふるさと学習」の実施 ふるさと学習の位置づけを学校側も積極的に考えて下さっており、もみ山に対する児童の興味・関心も高い。 コロナ禍で抜けた学年も含め、3学期と一緒に授業を実施予定。</p> <p>○その他</p> <p><input type="checkbox"/> 「長持ち道中」の模型作製</p> <p><input type="checkbox"/> のぼり旗の掲揚は、今年度も12月15（金）開催の交通安全キャンペーン会場（明新小前、大島環状線；県道）にて実施。</p>

今後の 課題

長期に渡るコロナ禍やSNS等によるコミュニケーションの普及で、地域の人間関係づくりは、人と人のつながりを一気に難しい局面に追いやってしまい、祭り等伝統行事の開催が難しくなっている。

それも、人口・人材の豊富な都市部においては、復活はたやすいかも知れないが、少子高齢・過疎化が深刻な地方にあっては、至難の業となっている。

これまでもしばしば、伝承文化が一旦絶えると復活は難しいと聞いてきており、まだまだそのパワーが残るうちにと思い、再生作業に取り組んでいる。これまでも写真や音声、模型等での伝承の記録は残してきたが、一番大事なのは「住民の経験と記憶」であると思い、地域コミュニティーづくりの充実を念頭にこれからも、できることから作業を重ねて行きたいと考えている。



のぼり旗の掲揚
(交通安全キャンペーン会場にて)

